



校長 だ よ り

「心豊かに」

岡山南支援学校の朝は「おはよう」の気持ちのよい挨拶から始まります。

私たちは、この気持ちのよい挨拶によって互いを思いやり、すがすがしく1日をスタートさせます。

友達と助け合いながら、自分の役割を果たしていく学習の中で、「ありがとう」の声がかかるとうれしくなります。

5月10日には、オーケストラのメンバーの方々が来校され、美しい音楽を演奏してください、感動しました。

図工や美術の時間では、創作の喜びや、想像を超えた仕上がりに感動する姿を表情や体いっぱい使って表している姿を見ることができます。

「心豊かに」ということばは「自立」、「社会参加」と重なる要素がたくさんあり、人生を展望する上でとっても大事な言葉と思っています。

「心が貧しい」の反対語として考えるとイメージしやすいかもしれません。

学習内容を構築するとき、次のようなことを念頭に置いています。

- Ⅰ 心おだやかに（情緒の安定）
- Ⅰ 意欲・主体性（見通し、興味関心）
- Ⅰ 自分を理解する（好き きらい 自信 喜び）
- Ⅰ 他人を信頼する、理解する（身近な人、思いやり、感謝、参加意欲）
- Ⅰ 情操を培う（快、美しい、感動、鑑賞）

学校は、集団活動を通していろいろな心を育てていく場です。子どもは、たくさんの友達や教師など関わって、たくさんの経験を積みます。時にはトラブルがあったりすることもあります。いろいろな方々の支援を得ながらそれを乗り越え、心豊かに育っていきます。

校長 木本 陽一